

港町十三番地

仲 佳子

あした浜辺をさまよえば
昔のことぞ　しのぼるる
風の音よ　雲のさまよ
よする波も　かいの色も

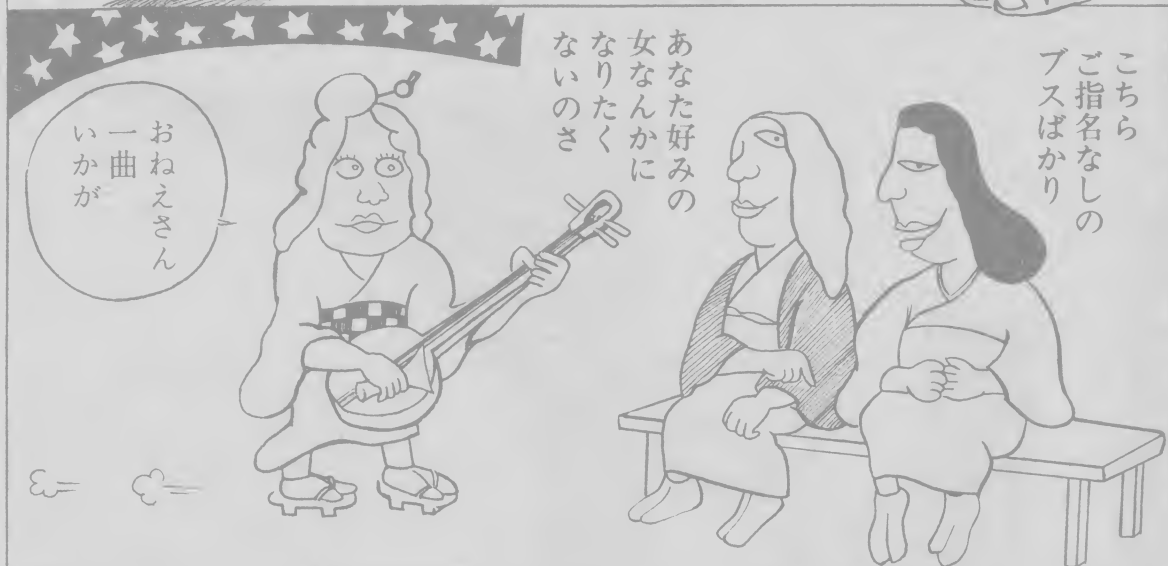




なぜでせう
なぜでせう

まじって！
いとしの
らん子

ツンとすました
横顔が
忘れられないの



こちら
ご指名なしの
ブスばかり

あなた好みの
女なんか
なりたく
ないのさ

おねえさん
一曲
いかが



踊るあほうに
見るあほう
同じあほなら

踊らな
そんな
そんな

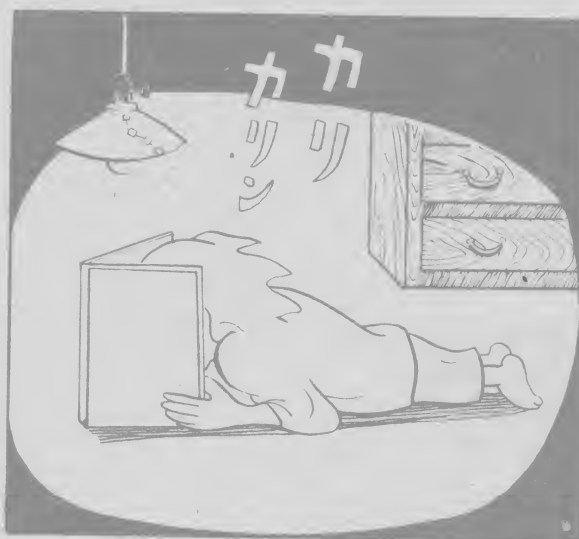
愛



そう
黒砂糖の
かりん糖ね



ウウウウ
グスン
グスン

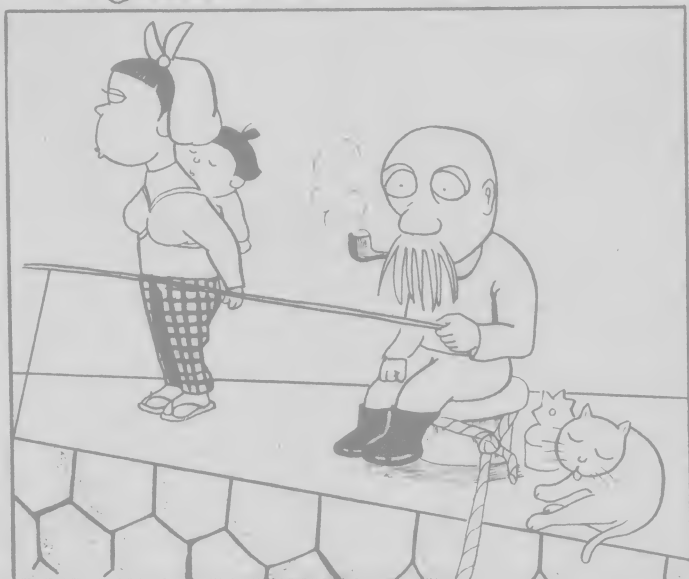


無事で
着いたら
便りを
くりやれ

泣く
小鳩よ
泣く
小鳩よ

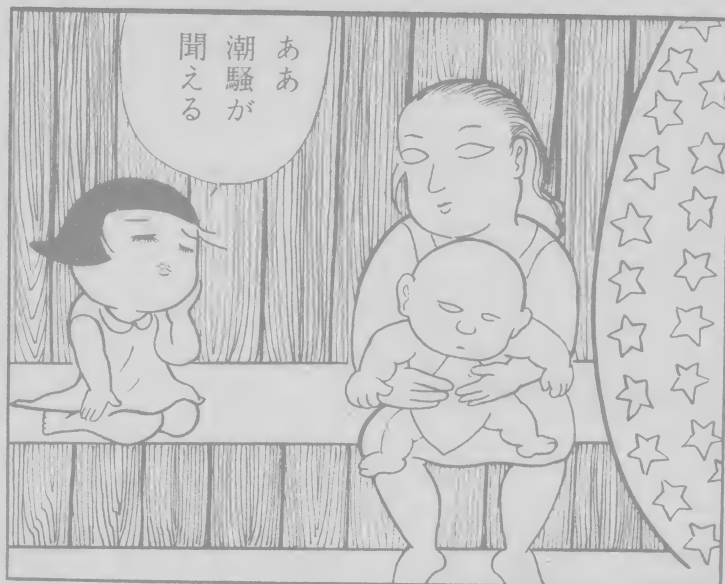
今鳴る
汽笛は
出船の
合図

松原遠く
消ゆる
ところ
白帆の影は
浮ぶ
干網浜に
高くして
鷗は低く
波に飛ぶ
見よ
昼の海



かまわ
ないのよ







だるまさん
 だるまさん
 にらめっこしましょ
 笑ったらだめよ
 うんとこどっこい
 しょい

